

---

# 2023 年度 活動報告書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

公益財団法人 民際センター

---



## 目次

|              |         |
|--------------|---------|
| 2023 年度事業報告  | Page 3  |
| 教育普及事業       | Page 3  |
| 教育環境整備事業     | Page 5  |
| 教育内容拡充事業     | Page 8  |
| 自然災害支援事業     | Page 8  |
| 調査研究事業       | Page 8  |
| 啓蒙啓発事業       | Page 9  |
| その他の募金活動について | Page 9  |
| 決算ハイライト      | Page 10 |
| 役員構成         | Page 11 |
| 海外事業所        | Page 11 |
| 計算書類         | Page 12 |
| 監査報告         | Page 14 |

## ごあいさつ

たとえ貧しい国に生まれても、貧困の家庭に生まれ育っても、人間として等しく教育を受ける権利があると信じています。「教育支援を通し、貧困削減と平和構築に貢献する」という理念のもとに 1987 年の活動開始からダルニー奨学金の提供を継続してまいりました。私たちの法人名の「民際」には、特別な思いが込められています。それは、国境を越えた民と民との親交こそが平和の基礎であり、平和構築に貢献するという理念です。

創設者の秋尾晃正前理事長が草の根活動として始めた教育支援事業は、今では公益財団法人として活動を広げて継続してまいりましたが、この度、次の世代に向けて引き継がれることになりました。活動理念は変わることなく、これからも多くの方がこの活動に参加することで、教育を受けた人材が創出され、新たな産業が起こり、雇用が生みだされ、やがて社会の貧困削減が実現します。それが社会全体の自立への道であり、最終的には支援を必要としなくてもよい社会の形成、平和構築につながります。教育を支援することこそが、自立した精神の形成に欠かせない有効な手段であると信じています。

不透明な世界情勢や自然災害、環境の変化の中でも、奨学金支援口数や各プロジェクト支援を着実に推進することができたのは、これまでご支援をいただきました皆さまのお力添えのおかげでございます。あらためまして感謝申し上げます。

皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、引き続きご支援くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(2024 年 9 月現在)

公益財団法人 民際センター  
代表理事 児玉忠弘

---

## 2023 年度事業報告

---

当期の我が国の非営利活動を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5 類」に移行したことで、3 年余り続いたコロナの影響は大きな節目を迎えました。ロシアによるウクライナ侵攻の長期化は、エネルギーや原材料価格の高騰につながり、世界的なインフレの波が日本にも押し寄せて、記録的な物価高をもたらす生活への影響が続きました。急激な円安は引き続き進行し、先行きの予測が困難な状況となっています。

このような状況の中、当法人は事業計画の基本方針として、アフターコロナを見据えた活動の強化、企業への新規・既存含む FR 活動の強化、ICT 技術による DX と組み合わせた MA 化推進等を掲げたものの、組織体制の構築やリーダーの育成が想定以上に進捗することができず、事業の推進についても課題が残る結果となりました。

そして、3 月 31 日付で創業者の秋尾晃正代表理事が辞任を表明し、1 月から委嘱した児玉忠弘諮問委員が後任として代表理事に就任しました。

また、内閣府による立入検査が 2 月に実施されて、ガバナンスに関連する法人運営や EDF 海外事業所体制について、公益法人認定申請時と現状事業状況の違い等について指摘がありました。公益法人としての活動、継続維持のために、今後についてはより透明性の高い自主改善案を推進して体制整備、組織強化に取り組んでいく所存であります。

なお、2 月には EDF インターナショナルの活動維持経費の一部として 427 万円を負担することとなり、理事会は事後報告として緊急の対応の送金をしました。

一方、個々の事業戦略では、前期中等教育奨学金（ダルニー奨学金）、後期中等教育奨学金（HOPE 奨学金）についてはともに対前年比増加を推進することができました。また、支援団体のイベント開催の増加をはじめとして、研修視察事業については個人、グループ、団体からの要望も増加し、現地訪問が可能な環境へ変化して、回復の傾向を実感しました。さらに、遺贈に関する活動についても新たな問い合わせについて丁寧な対応で調整することができました。

---

## 教育普及事業

---

SDGs の目標 4「質の高い教育をみんなに」の取り組みのため、民際センターは前期中等教育の中学生支援の拡充とともに、後期中等教育にも取り組んでいます。前期中等教育の中学生支援は設立以来継続している「ダルニー奨学金」に加え、後期中等教育である高校生支援「HOPE 奨学金」はタイ、ラオス、カンボジア、ベトナム、ミャンマーの 5 か国にて高校生向け奨学金支援の立ち上げから 2 年目を迎え、着実に推移することができました。

### 前期中等教育奨学金事業

対象国：タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム、ミャンマー

事業内容：中学生への奨学金支援（基礎教育奨学金事業）

ダルニー奨学金と名づけたメコン地域 5 か国の中学生に対しての奨学金支援事業です。

＜年度別 各国の奨学生数 単位：口数＞

| 年度   | タイ    | ラオス   | カンボジア | ベトナム  | ミャンマー | 合計    |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2016 | 2,246 | 2,978 | 1,353 | 405   | 602   | 7,584 |
| 2017 | 2,182 | 2,970 | 1,469 | 502   | 636   | 7,759 |
| 2018 | 2,280 | 2,732 | 1,496 | 717   | 676   | 7,901 |
| 2019 | 2,344 | 2,769 | 1,484 | 838   | 690   | 8,125 |
| 2020 | 2,369 | 2,768 | 1,546 | 1,048 | 716   | 8,447 |
| 2021 | 2,337 | 2,783 | 1,710 | 1,164 | 804   | 8,798 |
| 2022 | 2,373 | 2,850 | 1,776 | 1,085 | 905   | 8,989 |
| 2023 | 2,590 | 2,780 | 1,733 | 1,085 | 1,031 | 9,115 |

5 か国合計では 2016 年度から 7 年連続対前年比で奨学生口数を上回ることができました。

これらの奨学金支援には、通常の募金活動に加えて、書き損じはがきの収集、公益財団法人パブリックリソース財団が運営する Give One オンライン寄付サイトとの連携による奨学金提供、そして募金箱による寄付も含まれています。

### 書き損じはがき

宛先や文面を間違えて使用できなくなったはがき、また、年が変わって古くなり、送ることができなくなった年賀はがきなどの「書き損じはがき」を収集していただき、それらを現金化して奨学金とするプロジェクトです。民際センターでは 20 年以上取り組んできた実績があります。



最近では年賀状の減少や SNS 及びメールの普及等の影響で減少傾向にはありますが、グループや学校などのご尽力によって、本年度の現金化できた金額は 5,304,499 円となり、現金による補充や昨年度からの残金繰り越しなどを合わせ、**ドルニー奨学金 369 口分の支援**に結びつきました。

### 募金箱による寄付

ドルニー奨学金支援を募る募金箱、通称「ドルニーボックス」は、現在北海道から沖縄まで全国約 30 か所余りに設置されています。設置場所はレストランやコンビニエンスストア、美容院、リサイクルショップなど様々です。募金の金額も 1 円玉から高額紙幣まであり、多くの方々のご厚志を頂戴しています。募金箱の横に設置するドルニー奨学金パンフレットをご覧になったことがきっかけで支援活動に参加された方もいらっしゃいます。本年度は **9 拠点から回収**させていただき、**総額 102,656 円のご寄付**、**9 口の奨学金に充当**しました。民際センターでは、引き続き募金箱設置のご協力をお願いしております。



本年度の前期中等教育奨学金事業（ドルニー奨学金）の実績は以下の通りです。

**経常収益：131,270 千円**

**経常費用：135,194 千円**

## 後期中等教育奨学金事業

### 高等教育奨学金事業

対象国：タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム、ミャンマー

事業内容：高校生への奨学金支援

2022 年度から HOPE 奨学金という名称で活動を展開しています。ガルニー奨学金支援者が進学調査後に同じ生徒を継続して高校進学まで支援してきましたが、新規の高校生にも奨学金の支援を開始しました。この事業にはタイの職業訓練校奨学金支援も含んでいます。本年度は以下の通り奨学金を提供できました。

タイ 53 口、ラオス 45 口、カンボジア 38 口、ベトナム 24 口、ミャンマー 22 口、合計 182 口

経常収益：6,552 千円

経常費用：5,825 千円

---

## 教育環境整備事業

### ハード建設型整備事業

#### 女子寮建設事業

対象国：カンボジア

事業内容：現地では小学校と比較して中学・高校の数が少ないため、遠距離通学の生徒が多く、就学率低迷の原因となっています。本事業では、学校敷地内に女子寮を建設することで、女子生徒の就学継続や安全性確保をサポートします。

本年度は、**プリアヴィヒア州** **カンボンスララオ高等学校**、**コンポントム州** **サクラム中学校**の 2 棟を建設できました。

#### 学校内トイレ建設事業

対象国：カンボジア

事業内容：プロジェクト開始から 4 年目になる学校内にトイレ棟を建設する事業です。

カンボジアの学校では、トイレや上下水道施設は不足したままです。決して衛生的とは言えない環境の中で、生徒たちの健康が害されやすく、それが原因で女子生徒の低就学率につながる点が特に問題になっています。すでにトイレがある公立の学校もありますが、それらのほとんどは、水が流れない、手洗い場や洗浄設備が十分ではない等の問題を抱えています。このプロジェクトの目的は、トイレ設備を完備することによって学校の衛生環境と就学率を改善するものです。

本年度は、**タケオ州サムラオン郡** **フンセンアングブレイ高等学校**、**コンボンスプー州プノンスラウチ郡** **モハサン中学校**の 2 棟を建設できました。

### ウォータープロジェクト（給水引き込み整備事業）

対象国：カンボジア

事業内容：SDGs の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」の実現に向けて、学校内トイレ建設事業に加え、衛生的に利用できる水道設備が整っている学校が少ない現状を鑑み、学校内の給水設備、手洗い環境の改善により安全性を高め、安心できる就学を実現する支援事業です。このプロジェクトの目的は、地方の学校において安定した給水を確保し、衛生環境を改善することで生徒や教師の健康を向上すること、また衛生的な水へのアクセスを普遍化することで、安心して学

校へ通えるようにすることです。衛生的な水の供給は生徒たちが公衆衛生について考える機会にもなり、家族や地域の人たちに衛生や環境への効果を伝えることで、地域全体に啓蒙することも活動の狙いとしています。

3年目の本年度は、クラウドファンディングの成立による1棟を含めて8校に建設できました。

(竣工順)

コンポンチュナン州 サムデク モニ小学校

プレアヴィシア州 トゥール・ロヴィエン小学校

コンポンチュナン州 チョンバク・レインセイ小学校

プレアヴィシア州 プトレア中学校

プレアヴィシア州 トゥール・スレ・チョーク中学校

コンポントム州 アット・スー中学校

コンポントム州 チャー・クラム小学校

コンポントム州 プラサット・サンボー中学校

## 浄水プロジェクト事業

対象国：ミャンマー

事業内容：雨水や地下水といった未処理水をろ過する浄水器を学校に寄贈し、子どもたちの学びの場に安全な水が飲める環境を提供する事業です。子どもたちはより健康な身体で学校に通い続けることが可能となり、また従来のように各家庭が飲料水を購入し子どもに持たせる必要がなくなるため生徒の家庭の金銭的負担も軽減されます。さらに、水と衛生に関する子どもたちの意識を高めることも狙いとしています。

本年度は、ヤンゴン市チャンタピン地区 エーユアレー小中学校の1校に提供できました。

本年度のハード建設型整備事業の実績は以下の通りとなりました。

経常収益：18,728 千円

経常費用：19,337 千円

## ソフト提供型整備事業

民際センターでは、さらに質の高い教育を目指して、ダルニー奨学金やハード建設型整備事業の他にも、学校が遠くて通学が困難な生徒に対する通学自転車支援、本を読む機会の少ない子どもたちへの図書支援等の4つの提供型のプロジェクトを用意して、子どもたちの未来を応援しています。各国事業所は現地のスタッフで構成されており、どのような支援が自国の子どもたちに本当に必要なのかを日々肌で感じながら仕事をしています。彼らと日本事務局のスタッフが奨学金支援に加えて、子どもたちの自立につながる支援を真剣に考えたプロジェクトです。

## 書籍普及事業（図書支援プロジェクト）

対象国：ラオス、カンボジア

事業内容：ラオスとカンボジアでは子ども向けの本が不足しています。特に首都のビエンチャンやプノンペンから遠く離れた地方では読む本が教科書だけという子どもたちも多く、読書の機会が乏しい現実があります。そのような状況を受けて、子どもたちの豊かな想像力と思考力を育むために、ラオスとカンボジアの支援地域の学校に書籍を届ける「図書支援プロジェクト」を企画して、子どもたちが少しでも本に触れる機会を増やす活動をしています。このプロジェクトでは日本製の本を贈るので

はなく、ラオ語やクメール語（ラオスやカンボジアの母語）で書かれたその国に昔から伝わる物語や必要な知識を身につける本を、その国の現地職員が厳選して学校に贈っています。本の寄贈を受けた学校では、多くの生徒が初めて見る本に目を輝かせています。本年度は、**ラオスでは 60 校、カンボジアでは 60 校の学校に提供**できました。

**経常収益：4,200 千円**

**経常費用：5,230 千円**

### 学校教材支援事業（学校教材支援セット）

対象国：タイ、ラオス

事業内容：日々の教育に必要なスポーツ用具や教材を学校に支援するプロジェクトです。子どもたちの教育に効果的な教材や学用品は、現地で日常的によく使われるアイテムを現地事業所のスタッフが選別しています。スポーツ用具セットはサッカーボールやバレーボールなど大勢で楽しめる内容で、教材セットは鉛筆やボールペンの数を多くして、周りの子どもにも配れるような工夫もしています。調達から発送まですべて対象国内で手配するため、物価の安い支援対象国内で購入して贈ることで、より多くの支援を提供することができます。タイ、ラオスでは学校の予算は生徒数によって決まります。この事業の対象地域である郡部では生徒数が少ないため予算も少なく、この支援が非常に役に立っています。

本年度は、**タイに 9 セット、ラオスに 23 セットの教材を学校に提供**できました。

**経常収益：440 千円**

**経常費用：2,167 千円**

### 生徒教材支援事業（プレゼントセット）

対象国：タイ、ラオス

事業内容：ダルニー奨学金の奨学生を指定してプレゼントを贈るプロジェクトです（支援している生徒がいない場合は、支援を必要としている生徒にプレゼントを贈ることができます）。家庭環境に恵まれず、貧しい暮らしを強いられている生徒たちは、生まれてから一度もプレゼントをもらった経験がない子どもも多く、遠い日本の支援者様からのプレゼントが、生涯忘れない思い出となることを想像して企画し、このプロジェクトはスタートしました。プレゼントは調達から発送まですべて支援対象国内で手配し、プレゼントの内容は現地のスタッフが必要なものを現地で確かめて購入し、子どもたちに贈ります。日本国内でプレゼントを調達して現地へ送る方法と比較すると、より多くの本当に必要としているアイテムを贈ることができます。

本年度は、**タイに 68 セット、ラオスに 44 セットを提供**できました。

**経常収益：989 千円**

**経常費用：1,198 千円**

### 自転車支援事業（通学自転車プロジェクト）

対象国：ラオス、カンボジア

事業内容：農村地域で暮らす大部分の子どもたちにとって、自転車を持つことは、将来への希望を意味します。多くの子どもたちが自宅から遠く離れる学校へ徒歩で通っています。炎天下の過酷な長時間通学により、勉強に集中できない子や、通学を諦めてしまう子どもたちがいます。遠距離通学は貧困と同様に、教育を享受することに対して大きな障害となり、中途退学につながる原因の一つとなっています。自転車があることで通学の利便性が高くなることは、就学率の向上、中途退学率の低下に寄与することが期待できます。自転車は単なる移動手段ではなく、子どもたちの希望と教育機会の提供を意味し、貧困からの脱出につながるとても大切なものです。本年度は**ラオスに 174 台、カンボジアに 182 台を提供**できました。

なお、本年度も受託事業として、支援者のお一人である安田勝也様との協業により、カンボジアに追加支援を実施することができました。

経常収益：10,888 千円

経常費用：10,646 千円

---

## 教育内容拡充事業

---

### 少数民族教師養成事業

対象国：ラオス

事業内容：ラオスは、人口約 733 万人（2021 年 ラオス統計センター調べ）、約 53.2% は低地ラオ民族、クム族 11%、モン族 9.22% その他、アカ族など、少数民族を含め 50 の 民族で構成されています。各民族の文化的特徴も異なり、公用語のラオ語の他にそれぞれに固有の言語が存在します。しかし、学校教育はラオ語で行われるため、特に小学校に通う子どもたちは先生の話す言葉が理解できず、それが原因となって中途退学につながる生徒もいます。そのような状況を受けて、ラオス政府は小学校の敷地内に、少数民族の子どもたちにその民族固有の言葉を併用して教える準備クラスを設けました。民際センターでは 2004 年から、少数民族出身の学生たちがそうした準備クラスや小学校などで教鞭を取ることができるよう、教師養成を支援する奨学金を提供してきました。

本年度は 48 口の奨学金を支援することができました。

経常収益：7,200 千円

経常費用：8,678 千円

---

## 自然災害支援事業

---

対象国：タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム、ミャンマー

事業内容：自然災害等の影響で被害を受けた場合、緊急支援と復興支援を行います。特に教育の継続に問題が生じた場合、現地学校の要請等に基づいて、日本で募金活動を行い、速やかに被災の復興を支援する事業です。

本年度は該当する事案はありませんでした。

---

## 調査研究事業

---

対象国：タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム、ミャンマー

事業内容：教育支援等に関する事業開発及び実施について調査研究を行い、広く寄付金を募る前に実験的に試行する、または海外事業所、学校からの要請、あるいは支援者様の要望により、特定事業実施の必要性が生じた場合、適宜募金を実施してその事業を推進する事業です。

本年度は、該当する事案はありませんでした。

---

## 啓蒙啓発事業

---

### 研修視察事業

対象国：タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム、ミャンマー

事業内容と実績：支援者様を対象に、支援している現地を訪問し、奨学金贈呈式等への参加によって相互理解の促進を図ることを目的とした研修視察プログラムです。本年度は、渡航の規制が緩和されて、現地の支援地域に6件の訪問が実現できました。

- 4月 カンボジア 女子寮竣工式 視察
- 9月 カンボジア 過年度建設女子寮 視察
- 11月 板倉ラオスの会 ラオス スタディーツアー
- 12月 ニコン ラオス 現地視察（学校及び家庭訪問）
- 1月 エフサステクノロジーズ労働組合 ラオス スタディーツアー
- 3月 SWITCH カンボジア スタディーツアー

経常収益：3,416 千円

経常費用：4,103 千円

### 民際力推進事業

対象国：日本

事業内容：民際センター サポートプログラム（マンスリーサポートを含む）は、民際力 サポート支援の名称としても推進しており、民際センターの活動全般を支援いただくプログラムです。税金を財源とする補助金や地方自治体の補助金で事業を推進するのではなく、支援者様と一緒に民際センターの活動を推進しています。

経常収益：8,401 千円

経常費用：5,944 千円

---

## その他の募金活動について

---

本年度は、イベントの実施や協賛、講演会、展示会等が本格的に再開されて、民際センターの活動を紹介できる機会が増えてきました。下記のイベントの開催につきましては、多くの皆さまにご協力をいただくことができました。あらためて感謝申し上げます。

- 8月 H2O サンタ NPO フェスティバル ブース出展&イベントトーク&水運び体験
- 11月 パルシステム神奈川 大和センターまつり出展
- 11月 Peatix ミャンマー浄水プロジェクト オンライン報告会
- 12月 Peatix カンボジア所長 オンラインイベント チャリティーカレンダー
- 2月 MS&AD 軽音楽部 ゆにぞんスマイルクラブ バレンタインチャリティーコンサート
- 2月 ライオンズクラブ国際協調委員会セミナー
- 2月 パルシステム神奈川 ハートカフェ出展、学習会、書き損じはがき仕分け
- 3月 H2O サンタ NPO フェスティバル ブース出展&イベントトーク&ゴスペル

## 決算ハイライト

(単位：千円)



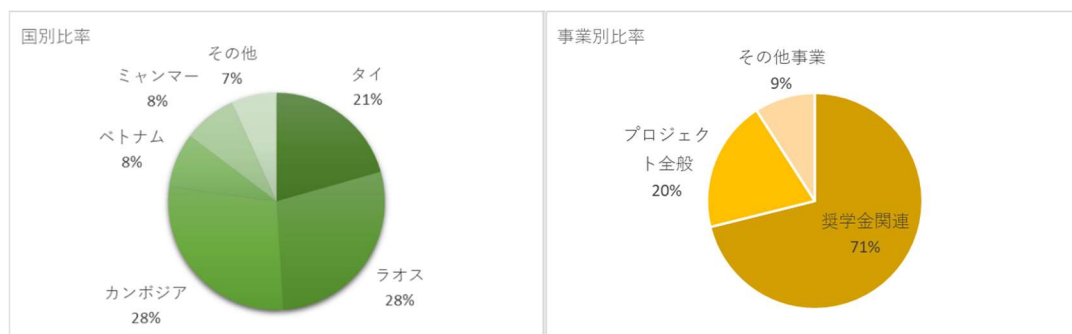
| 科 目   | 2017    | 2018    | 2019    | 2020    | 2021    | 2022    | 2023    |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事業収益  | 14,268  | 8,787   | 8,957   | 5,901   | 6,655   | 7,767   | 7,950   |
| 受取寄付金 | 158,615 | 165,398 | 164,601 | 176,997 | 191,996 | 186,023 | 185,762 |



| 科 目 | 2017    | 2018    | 2019    | 2020    | 2021    | 2022    | 2023    |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事業費 | 163,630 | 164,325 | 161,781 | 166,526 | 187,049 | 200,237 | 198,418 |
| 管理費 | 7,997   | 9,962   | 9,645   | 10,716  | 11,456  | 11,202  | 10,082  |

## 経常収益の国別内訳

|          | タイ     | ラオス    | カンボジア  | ベトナム   | ミャンマー  | その他    | 合計      |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 奨学金関連事業  | 39,204 | 41,652 | 26,338 | 15,710 | 14,918 | 0      | 137,822 |
| プロジェクト全般 | 724    | 13,405 | 23,639 | 10     | 495    | 0      | 38,273  |
| その他事業    | 0      | 0      | 4,534  | 0      | 0      | 13,136 | 17,671  |
| 合計       | 39,928 | 55,057 | 54,511 | 15,720 | 15,413 | 13,136 | 193,767 |



## 役員構成（2024年6月26日現在）

|      |        |                         |
|------|--------|-------------------------|
| 代表理事 | 児玉 忠弘  | 公益財団法人民際センター 理事長        |
| 理事   | 神村 正樹  | 株式会社 BUA 代表取締役          |
| 理事   | 谷田 脩一郎 | 株式会社フェアプライズ 代表取締役       |
| 理事   | 松田 篤   | 行政書士 駿台法律経済&ビジネス専門学校 講師 |
| 理事   | 松葉 健   | 弁護士法人まつば法律事務所 代表弁護士     |

|     |        |                                     |
|-----|--------|-------------------------------------|
| 評議員 | 浅見 靖仁  | 法政大学 法学部国際政治学科 教授                   |
| 評議員 | 衛藤 真規  | 株式会社サイタコーディネーション 代表取締役              |
| 評議員 | 大島 仁志  | キンビール株式会社 元常務執行役員                   |
| 評議員 | 小笠原 耕司 | 弁護士 小笠原国際総合法律事務所 代表                 |
| 評議員 | 加藤 隆久  | 建築家 加藤隆久都市建築事務所 代表取締役               |
| 評議員 | 真田 正明  | 朝日新聞社 元論説委員                         |
| 評議員 | 行方 一正  | 株式会社エイチ・アイ・エス 元取締役相談役               |
| 評議員 | 股野 尚子  | 放送作家 劇作家 エッセイスト一般社団法人 日本放送作家協会 元理事長 |
| 評議員 | 山下 大   | 情報印刷株式会社 代表取締役社長                    |

|    |        |               |
|----|--------|---------------|
| 監事 | 吉田 宗一郎 | 吉田公認会計士事務所 所長 |
|----|--------|---------------|

## 海外事業所

|              |                 |                   |                   |
|--------------|-----------------|-------------------|-------------------|
| EDF-Thai     | タイ国法人格 税制優遇措置団体 | Managing Director | Et Sunphet Nilrat |
| EDF-Lao      | 内務省認可 国際 NGO    | Managing Director | Khamhiane Inthava |
| EDF-Cambodia | 外務省認可 国際 NGO    | Managing Director | Chandy Cheng      |
| EDF-Vietnam  | 外務省認可 国際 NGO    | Managing Director | Nghiem Cam Van    |
| EDF-Myanmar  | 教育省 国際 NGO      | Managing Director | Zin Zaw Zaw Maung |

## 計算書類

### 貸借対照表

2024年 3月31日現在

公益財団法人 民際センター

(単位：円)

| 科 目               | 当年度          | 前年度          | 増 減          |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|
| <b>I 資産の部</b>     |              |              |              |
| 1. 流動資産           |              |              |              |
| 現金預金              | 4,542,541    | 24,668,074   | △ 20,125,533 |
| 未収金               | 11,741,163   | 9,788,800    | 1,952,363    |
| 前払金               | 7,597,440    | 0            | 7,597,440    |
| 貯蔵品               | 949,149      | 593,275      | 355,874      |
| 立替金               | 0            | 214,262      | △ 214,262    |
| 前払費用              | 364,549      | 359,548      | 5,001        |
| 流動資産合計            | 25,194,842   | 35,623,959   | △ 10,429,117 |
| 2. 固定資産           |              |              |              |
| (1) 基本財産          |              |              |              |
| 定期預金              | 6,000,000    | 6,000,000    | 0            |
| 基本財産合計            | 6,000,000    | 6,000,000    | 0            |
| (2) 特定資産          |              |              |              |
| 基礎教育奨学金事業資産       | 22,725,691   | 42,955,531   | △ 20,229,840 |
| 高等教育奨学金資産         | 8,312,900    | 5,968,900    | 2,344,000    |
| 教師養成事業資産          | 5,400,000    | 4,200,000    | 1,200,000    |
| 学校施設整備事業資産        | 2,522,100    | 793,700      | 1,728,400    |
| 図書施設整備事業資産        | 1,469,255    | 1,532,535    | △ 63,280     |
| プロジェクト全般事業資産      | 0            | 1,109,400    | △ 1,109,400  |
| 民際力資産             | 0            | 558,910      | △ 558,910    |
| 特別指定事業資産          | 11,194,889   | 12,634,889   | △ 1,440,000  |
| 私の特別教育基金資産        | 5,142,962    | 4,799,415    | 343,547      |
| 特定資産合計            | 56,767,797   | 74,553,280   | △ 17,785,483 |
| (3) その他固定資産       |              |              |              |
| 建物付属設備            | 430,080      | 476,160      | △ 46,080     |
| 什器備品              | 612,031      | 397,672      | 214,359      |
| 敷金                | 1,701,750    | 1,701,750    | 0            |
| その他固定資産合計         | 2,743,861    | 2,575,582    | 168,279      |
| 固定資産合計            | 65,511,658   | 83,128,862   | △ 17,617,204 |
| 資産合計              | 90,706,500   | 118,752,821  | △ 28,046,321 |
| <b>II 負債の部</b>    |              |              |              |
| 1. 流動負債           |              |              |              |
| 未払金               | 539,604      | 2,324,638    | △ 1,785,034  |
| 海外事業未払金           | 57,725,143   | 48,617,475   | 9,107,668    |
| 未払費用              | 598,772      | 0            | 598,772      |
| 前受金               | 600,000      | 0            | 600,000      |
| 預り金               | 280,459      | 1,695,734    | △ 1,415,275  |
| 源泉雇用預り金           | 534,044      | 639,089      | △ 105,045    |
| 賞与引当金             | 0            | 4,266,691    | △ 4,266,691  |
| 流動負債合計            | 60,278,022   | 57,543,627   | 2,734,395    |
| 負債合計              | 60,278,022   | 57,543,627   | 2,734,395    |
| <b>III 正味財産の部</b> |              |              |              |
| 1. 基金             |              |              |              |
| 2. 指定正味財産         |              |              |              |
| 受取寄付金             | 66,142,116   | 77,256,334   | △ 11,114,218 |
| 指定正味財産合計          | 66,142,116   | 77,256,334   | △ 11,114,218 |
| (うち基本財産への充当額)     | 6,000,000    | 6,000,000    | 0            |
| (うち特定資産への充当額)     | 60,142,116   | 71,256,334   | △ 11,114,218 |
| 3. 一般正味財産         |              |              |              |
| (1) その他一般正味財産     | △ 35,713,638 | △ 16,047,140 | △ 19,666,498 |
| 一般正味財産合計          | △ 35,713,638 | △ 16,047,140 | △ 19,666,498 |
| 正味財産合計            | 30,428,478   | 61,209,194   | △ 30,780,716 |
| 負債及び正味財産合計        | 90,706,500   | 118,752,821  | △ 28,046,321 |

# 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

公益財団法人 民際センター

(単位: 円)

| 科 目             | 当年度           | 前年度           | 増 減          |
|-----------------|---------------|---------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部    |               |               |              |
| 1. 経常増減の部       |               |               |              |
| (1) 経常収益        |               |               |              |
| 基本財産運用益         | 119           | 119           | 0            |
| 特定資産運用益         | 788           | 12,840        | △ 12,052     |
| 事業収益            | 7,950,722     | 7,767,008     | 183,714      |
| 特別教育奨学金事業受取寄付金  | 0             | 1,399,132     | △ 1,399,132  |
| 研修視察事業収益        | 3,416,516     | 1,536,331     | 1,880,185    |
| 委託収益            | 4,534,206     | 4,831,545     | △ 297,339    |
| 受取寄付金           | 185,762,096   | 186,023,600   | △ 261,504    |
| 基礎教育奨学金事業受取寄付金  | 131,270,400   | 129,456,000   | 1,814,400    |
| 高等教育奨学金事業受取寄付金  | 6,552,000     | 4,392,000     | 2,160,000    |
| 教師養成事業受取寄付金     | 7,200,000     | 8,700,000     | △ 1,500,000  |
| 学校施設整備事業受取寄付金   | 18,728,000    | 25,990,800    | △ 7,262,800  |
| 図書施設整備事業受取寄付金   | 161,478       | 177,383       | △ 15,905     |
| 書籍普及事業受取寄付金     | 4,200,000     | 5,285,000     | △ 1,085,000  |
| 学校教材支援事業受取寄付金   | 640,000       | 440,000       | 200,000      |
| 生徒教材支援事業受取寄付金   | 936,000       | 1,520,000     | △ 584,000    |
| 自転車支援事業受取寄付金    | 6,408,000     | 4,698,000     | 1,710,000    |
| プロジェクト全般受取寄付金   | 1,264,600     | 0             | 1,264,600    |
| 民際力事業受取寄付金      | 8,401,618     | 5,364,417     | 3,037,201    |
| 雑収益             | 52,800        | 4,300         | 48,500       |
| 経常収益計           | 193,766,525   | 193,807,867   | △ 41,342     |
| (2) 経常費用        |               |               |              |
| 事業費             | 198,418,573   | 200,237,163   | △ 1,818,590  |
| 管理費             | 10,082,470    | 11,202,206    | △ 1,119,736  |
| 経常費用計           | 208,501,043   | 211,439,369   | △ 2,938,326  |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 14,734,518  | △ 17,631,502  | 2,896,984    |
| 評価損益等計          | 0             | 0             | 0            |
| 当期経常増減額         | △ 14,734,518  | △ 17,631,502  | 2,896,984    |
| 2. 経常外増減の部      |               |               |              |
| (1) 経常外収益       |               |               |              |
| 為替差益            | 444,802       | 2,724,296     | △ 2,279,494  |
| 前期損益修正益         | 187,460       | 148,819       | 38,641       |
| 経常外収益計          | 632,262       | 2,873,115     | △ 2,240,853  |
| (2) 経常外費用       |               |               |              |
| 為替差損            | 5,564,242     | 2,860,197     | 2,704,045    |
| 特別損失            | 0             | 1,560,000     | △ 1,560,000  |
| 経常外費用計          | 5,564,242     | 4,420,197     | 1,144,045    |
| 当期経常外増減額        | △ 4,931,980   | △ 1,547,082   | △ 3,384,898  |
| 当期一般正味財産増減額     | △ 19,666,498  | △ 19,178,584  | △ 487,914    |
| 一般正味財産期首残高      | △ 16,047,140  | 3,131,444     | △ 19,178,584 |
| 一般正味財産期末残高      | △ 35,713,638  | △ 16,047,140  | △ 19,666,498 |
| II 指定正味財産増減の部   |               |               |              |
| 受取寄付金           | 175,230,506   | 179,438,741   | △ 4,208,235  |
| 基礎教育奨学金事業受取寄付金  | 118,638,000   | 127,069,200   | △ 8,431,200  |
| 高等教育奨学金事業受取寄付金  | 8,896,000     | 7,128,000     | 1,768,000    |
| 教師養成事業受取寄付金     | 8,400,000     | 7,500,000     | 900,000      |
| 学校施設整備事業受取寄付金   | 20,456,400    | 26,272,100    | △ 5,815,700  |
| 図書施設整備事業受取寄付金   | 98,198        | 1,075,934     | △ 977,736    |
| 書籍普及事業受取寄付金     | 4,200,000     | 5,285,000     | △ 1,085,000  |
| 学校教材支援事業受取寄付金   | 640,000       | 440,000       | 200,000      |
| 生徒教材支援事業受取寄付金   | 936,000       | 1,520,000     | △ 584,000    |
| 自転車支援事業受取寄付金    | 6,408,000     | 4,698,000     | 1,710,000    |
| プロジェクト全般受取寄付金   | 155,200       | 180,200       | △ 25,000     |
| 民際力事業受取寄付金      | 7,842,708     | 5,364,417     | 2,478,291    |
| 特別指定事業資産受取寄付金   | △ 1,440,000   | △ 7,094,110   | 5,654,110    |
| 特定資産評価益         | 50,134        | 1,982         | 48,152       |
| 特定資産評価損         | 632,762       | 76,400        | 556,362      |
| 一般正味財産への振替額     | △ 185,762,096 | △ 186,023,600 | 261,504      |
| 当期指定正味財産増減額     | △ 11,114,218  | △ 6,659,277   | △ 4,454,941  |
| 指定正味財産期首残高      | 77,256,334    | 83,915,611    | △ 6,659,277  |
| 指定正味財産期末残高      | 66,142,116    | 77,256,334    | △ 11,114,218 |
| III 基金増減の部      |               |               |              |
| IV 正味財産期末残高     | 30,428,478    | 61,209,194    | △ 30,780,716 |

## 監査報告

### 監 査 報 告 書

公益財団法人 民際センター  
理事長 児玉 忠弘 殿

2024年5月27日  
公益財団法人 民際センター

監事 吉田 宗一郎



私は、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

#### 1、監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

#### 2、監査意見

##### (1) 事業報告等の監査結果

予算で計上していない経費は理事会で承認されてから支出する必要があります。

- 一 事業報告は、上記を除いて法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

##### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

#### 3 今後の検討事項

- (1) 海外拠点の実態把握と決算書に基づく管理が必要と考えます。
- (2) 前期と今期と赤字となっています。資金繰りが厳しくなっていますので改善する方法の検討が必要と考えます。

以上



〒103-0023  
東京都中央区日本橋本町 2-6-13  
山三ビル 7F  
TEL: 03-6457-5782  
URL: [www.minsai.org](http://www.minsai.org)